

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 山本 知也 殿

隊員氏名 大塚 洋志

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2024年5月分】

1. 実施した活動の概要・状況

5月中は天候に恵まれず、「親子でイルカウォッチング」の実施は叶わなかった。6/1には実施出来たので、イルカウォッチングについての報告は来月になる。また、初任者研修を受講し、協力隊としてのありかたや活動の指針を学んだため、基本を忘れずに任期を務めあげたい。

6/8に実施予定の「水の生き物探し隊！」や6/23のホタテフェスの準備を進行中である。

（主な活動）

◇5/10（金）夢の平成号出発式

この日より今年度の夢の平成号の出発式が行われた。山本市長をはじめ、多くの来賓の方々や夢の平成号船長により運航の安全祈願が行われた。この後イルカウォッチングの体験乗船会として平成号に乗船する予定であったが、強風により中止となった。先月の牛の首農村公園清掃活動に引き続き、式に出席されていた方々との交流をすることが出来た。



◇5/11（土）サンマモルワイナリー植樹会

むつ市内にある「サンマモルワイナリー」にて植樹会が行われた。ここではブドウを離れた場所で栽培していたため、観光客に「ブドウはどこですか?」と聞かれることが多かったという。そこでこの度、ワイナリーの目の前に新たにブドウを植えることとなったそうである。ここから3年ほどかけてブドウが収穫できるようになるまで成長するようなので、その頃に下北の新たな観光資源となることが期待される。



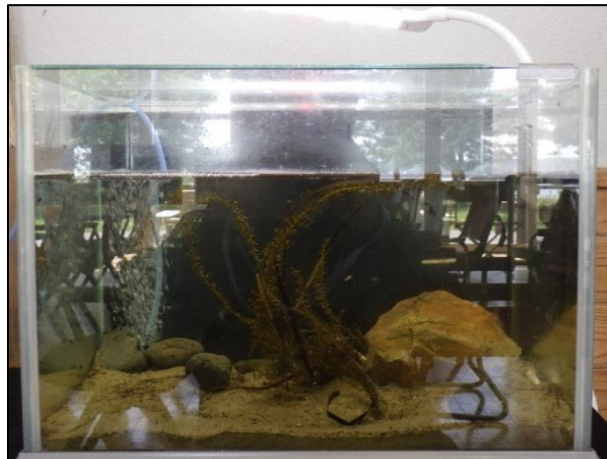
◇5/22（水）シンガポール国立大学 体験プログラム

シンガポール国立大学より短期留学生が下北にて活動しており、その学習の一環として体験館でカヤックと生き物探しを行った。私が担当したのは生き物探しであり、生き物のいる場所や捕まえ方などを話した。学生たちにとってやはり日本の海の生き物は新鮮に映ったようで、「見たことのない生き物ばかり」と目を輝かせていた。



◇新しい展示の立ち上げ「エダアシクラゲ」

体験館内の生体展示に新たに「エダアシクラゲ」の水槽を立ち上げた。館内のマハゼを展示している水槽に偶然紛れ込み、しばらくは小さな容器で管理していたのだが、この種は繁殖力が非常に高く瞬く間に数が増えたので水槽に移した。この種は海草を足場にするため、ビーチからエダアシクラゲの付着する海草を採集し、実際にクラゲが生息している環境を再現することで生き物が海草を活用して生きている様子を観察できる教育的効果を期待する。



2. 翌月の活動予定

- 6/1：親子でイルカウォッチング
- 6/8：水の生き物探し隊！
- 6/14：関根中体験学習
- 6/15：えびな保育園体験学習
- 6/23：川内ホタテフェス